

G7 長野県・軽井沢交通大臣会合について

○日本が議長国となる G7 伊勢志摩サミットの最後の関連閣僚会合として、2016 年 9 月 23 日-25 日に長野県軽井沢町において開催し、当面の大きなテーマである次の 2 つについて議論される予定。自動運転の早期実現や老朽化する交通インフラへの対応など先進国に共通する喫緊の課題を取り上げ、G7 で協調すべき政策の大きな方向性を打ち出すべく、大臣宣言が発表される予定

【参考】メンバー G7 各国（日、アメリカ、イギリス、イタリア、カナダ、ドイツ、フランス）の交通担当大臣、欧州委員会交通担当委員

・テーマ 1 「交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略」

対象：交通インフラ整備のファイナンス、戦略的な社会資本整備と最新技術を活用した交通インフラの更新方策

各先進国とも、経済発展の過程で、着実にインフラストックが形成され、蓄積が高まる中、インフラの老朽化が進行している。このため、インフラを適切に維持管理・更新しつつ、必要な新規・高度化投資を行っていくためには、メンテナンスコストを縮減・平準化し、インフラを賢く使いながら、適切なファイナンス方策を確保することが、先進国各国ともに大きな共通課題となっている。

したがって、このようなインフラの維持更新への計画的対応やそのコストの縮減・平準化方策、特に、最新技術を活用した交通インフラの更新方策、あるいは、財政的制約がある中でのインフラのファイナンス方策について、先進国の中で、知見を共有し、解決のための今後の対応の方向性を模索することとする。

・テーマ 2 「自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及」

対象：自動運転・ITS・燃料電池自動車、電気自動車等次世代自動車

現在、自動車の自動運転は開発が加速的に進展しつつある。また、ITS 技術の高度化も進められている。こうした技術の実用化により、事故の未然防止による安全性の向上、渋滞の緩和、高齢者の移動支援、公共交通での活用など様々な効果が期待される。また、燃料電池自動車等次世代自動車の普及による地球温暖化対策への寄与も期待される。

このような最新技術の開発については、激しい国際競争が繰り広げられている一方で、その普及のために国際協調を図る必要があるため、先進国が歩調をあわせて取り組む方向性を打ち出すことを目指す。